

INFO SATAKE

2019 Autumn vol.17



The image consists of two parts. The top part is a wide-angle shot of a massive industrial building with a high ceiling, supported by a network of blue-painted steel beams and pipes. The bottom part is a closer view of a piece of machinery, specifically a Satake rice milling machine, showing its white exterior and various mechanical components.

フィリピン「チエン・イー・社」から受注した精米プラントが6月1日に竣工、7月5日より本格稼働を開始しました。これは同社がレイテ島タクロバン市近郊に建設したもので、処理能力毎時30トンの乾燥機10台および毎時7トンの精米加工ラインを持つ、同島最大級の精米加工プラント。開所式にはドゥテルテ大統領も出席するなど、内外から注目されています。

主要産業ながら機械化が進まず非効率的であった同島の稻作ですが、現在チエン・イー社が「Rice Revolution（稻作革命）」を掲げ、機械化・自動化による稻作の効率化と高品質化を進めています。新しい精米プラントは今後、その中核施設としての役割を担っていきます。



A wide-angle photograph capturing a bustling outdoor flea market. Numerous people of various ages are seen browsing through numerous items laid out on the ground and in red plastic tubs. The market is set against a backdrop of modern buildings, including a prominent white apartment complex and a blue office building. The sky is overcast with grey clouds.

A photograph showing a group of people gathered around a food stall. A man in a blue baseball cap and vest is interacting with a woman in a black top and patterned skirt. The stall is covered with a blue cloth and displays various food items in baskets and containers. In the background, other people are walking by, and a building with a sign that reads "Sakamotri" is visible.

Col
何を飲む？

扁平足の人は、長く歩いたり立つていたりすると、『土踏まず』に痛みや疲れが出やすいと言われていますが、筆者もやや扁平なので何となく分かります。昔、横綱千代の富士の足裏をテレビで見て、『扁平足とは真逆の美しい』『土踏まず』にうつとりとした記憶があります(笑)。まあ、無じ物ねだりの心情と言えばそれまでですが…。

『扁平』とは「凹凸」が少なく、ひらびり

「たじ」とと辞書にあります。扁平タイプは何となくカッ「たじ」イメージですが、扁平足、扁平顔、扁平コンジロームなど、どちらかと言えばあまり嬉しくない使われ方をしています。

ところが、この扁平が役に立つとか、立派な効果をもたらすこともあります。それが「扁平精米」です。一般に吟醸酒などの高級酒は酒米をかなり磨きます。吟醸酒では精米歩合が60%以下、大吟醸酒では50%以下という基準があり、中には20%台のものもあります。

50%といふと酒米の半分を削ることになりますが、通常は中心部分(心白)を残すように球形に精米します(球状精米)。外側のタンパク質、脂質など酒の雑味や異臭のもとになる不要成分を削り落とすことで、美味しい酒が醸し

不要成分を部分(デンプン)す。実際に「想像」してみると、酒米は「酒米を無もの」と思つた。ただ、扁平なため割れる必要とさへ精米に對する力と圧力を決しました。石と圧力で発明し、吟醸酒は歐米で愛飲者が増えていきます。少しづつでも日本技術と伝統の粋である「吟醸酒」が世界中で飲まれるようになります。



出されるからです。
一方、扁平精米は

出されるからです。

Column 丸い地球で何を飲む？

Column

A man in a dark blue polo shirt and dark trousers stands in front of a large white shipping container. The container is filled with various pieces of electronic equipment, including several large black units labeled 'SDR ESDOX'. The man is positioned centrally, with the equipment filling the background and sides of the frame. The floor is a light-colored concrete.



株式会社BMファーム

代表取締役 青山 定浩 氏

佐賀県の北西部に位置する唐津市。この地で地域農業の担い手として、水稻を中心^ムに規模拡大を続ける株式会社BMファーム。今春、ライスセンターの新設に合わせてSAXES乾燥機SDR6500Xを4台、SAXES粉碎機SRZ5500Xを1台導入した。SAXESシリーズを選んだ背景について、代表取締役の青山定浩氏にインタビューした(2019年6月)。

花の栽培を中心とした施設園芸を営む農家の5代目として生まれた青山氏。地

元の商業高校を卒業後、久留米の農業試験場で花の栽培を2年間学び、20歳で青山家の跡継ぎとして就農。4年前に法人化したが、社名は苗字の「青山」を英訳した、「Blue Mountain」から名付けた。



BMファームが管理する棚田



ら10年前のこと。地域の高齢化や担い手不足から離農者が増えていた当時、複数の近隣農家から農地を引き受けた「ほしい」と話があつた。悩んだ末に家族会議を行い、引き受けることを決めた。「地域の農業を守らたい、とこうより自分が守らなくてはならぬ」という使命感がありました。周囲にそれだけの気力と体力のある人間がいなかつたというのが、決意した理由になったのかもしれません」と話す青山氏。それもそのはず、中山間地の多い唐津市内の農地は、小さな圃場、大きな法面、さらに変形した棚田が多いのが特徴で、そこを綺麗に管理し続けるには人もお金も時間もかかる。特にここ数年は大規模農家の離農も加速しており、10年前7ヘクタールからスタートした當農面積は32ヘクタールまで広がった。

中山間地の多い唐津市内の農地は、小さな圃場、大きな法面、さらに変形した棚田が多いのが特徴で、そこを綺麗に管理し続けるには人もお金も時間もかかる。特にここ数年は大規模農家の離農も加速しており、10年前7ヘクタールからスタートした當農面積は32ヘクタールまで広がった。

